

ねっとわーく通信

高齢者の不安に付け込んだ**悪質商法**の被害が後を絶ちません。
みなさんの見守りで、一つでも被害を減らしましょう!



高齢者の消費者被害の特徴



高齢者が抱える3つの不安が狙われています!

健康



病気や認知症になつたらどうしよう...

お金



この先、生活費は足りるだろうか...

孤独



今日も誰とも話さなかったな...

被害にあっても、多くの高齢者は...



なんて親切なセールスマン

だまされたことに気がつきにくい



トラブルにあっても誰にも言わない

家族に知られたら叱られる...



こんなことに気づいたら...



- ✓ 見慣れない人が出入りしている
- ✓ 不自然な工事をしている
- ✓ 宅配便が頻繁に届いている

- ✓ 大量のふとんや健康食品がある
- ✓ 古い着物や宝飾品が出ている
- ✓ 不審なパンフレットや請求書がある



消費者トラブルかもしれません!!

消費生活センターまたは地域包括支援センター(連絡先は中面参照)にご相談ください

目黒区消費生活センター ☎ 03-3711-1140

相談時間 月曜から金曜日 午前9時30分から午後4時30分まで ※上記以外の時間は、消費者ホットライン 188(局番なし)へ

見守りチェックシート

「おやっ?」と思ったことはありませんか

当てはまるものにを入れてください。

	<input type="checkbox"/> 昼間でも電気がついたらままだまっている。		<input type="checkbox"/> 何日も同じ洗濯物が干したままになっている。		<input type="checkbox"/> 顔色が悪く、具合が悪そうに見える、急に痩せてきたような気がする。		<input type="checkbox"/> 今まで挨拶していたのになくなった。
	<input type="checkbox"/> 郵便受けに新聞や郵便物がたまっている。		<input type="checkbox"/> 異臭がする。		<input type="checkbox"/> 話がかみあわなくなった、同じ話を何回もするようになった。		<input type="checkbox"/> 暴言を吐くなど、性格が変わった。
	<input type="checkbox"/> 庭が荒れている。		<input type="checkbox"/> 家の中から怒鳴り声がある、悲鳴が聞こえる。		<input type="checkbox"/> 髪や服装が乱れている、季節に合わない服を着ている。		<input type="checkbox"/> お店などで、勘定ができない、同じものを大量に購入している。
	<input type="checkbox"/> 最近知らない人が出入りしている。		<input type="checkbox"/> 家に閉じこもって、ほとんど外に出てこない。		<input type="checkbox"/> 身体（顔や手足など）にあざがある、あざがあるが話したがない。		<input type="checkbox"/> 認知症や寝たきりの家族を抱え、介護者が疲れている様子がある。
					<input type="checkbox"/> 長い間、顔を見掛けない。		<input type="checkbox"/> 町内会、サロン、サークルといった地域の集まりや行事にいつも参加しているのに、急に来なくなった。

イラスト出典：東京都福祉保健局作成「高齢者等の見守りガイドブック(第3版)」 承認番号：30福保高在第318号

1つでもあれば、地域包括支援センターにお知らせください

- 連絡先**
- 北部包括支援センター ▶ ☎5428-6891 fax3496-5215 目黒区大橋1-5-1 クロスエアタワー9階
 - 東部包括支援センター ▶ ☎5724-8030 fax3715-1076 目黒区上目黒2-19-15 目黒区総合庁舎1階
 - 中央包括支援センター ▶ ☎5724-8066 fax5722-9803 目黒区中央町2-9-13 食販ビル2階
 - 南部包括支援センター ▶ ☎5724-8033 fax3719-2031 目黒区碑文谷1-18-14 碑小学校内南西側
 - 西部包括支援センター ▶ ☎5701-7244 fax3723-3432 目黒区柿の木坂1-28-10

開設時間 月曜から金曜日 午前8時30分から午後7時まで
土曜日 午前8時30分から午後5時まで (祝・休日と年末年始を除く)

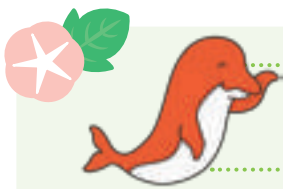
平成30年4月より
開設時間を
延長しました!



地域包括支援センターとは?

地域包括支援センターは、住み慣れたまちでだれもが安心して住み続けられるように、保健・福祉の面から区民のみなさんを支援する窓口です。専門知識を持った職員が、介護保険や認知症、在宅療養などの相談をお受けし、適切な制度やサービスの利用につながるよう支援します。

また、本人や家族からの相談だけでなく、**区民や区内で活動する事業者から、日常生活や仕事のなかで気づいた高齢者などの小さな異変をご連絡いただくことで、必要な支援へとつなげていきます。**



平成29年度の取り組み



見守りサポーター養成講座を開催

地域を緩やかに見守る「見守りサポーター」の養成を目的に、講座を開催しました。目黒警察署ふれあいポリスの浮田警部補をお招きし、「見守りで特殊詐欺から地域を守る」をテーマにお話しいただきました。47名の参加があり、ユーモアあふれる解説と事例を交えた講演は、大変好評でした。

目黒区商工まつりでのPR

見守りのポイントを学べるゲームを実施し、180人もの参加がありました。また、アンケートやパンフレット配布などを通し、地域包括支援センターの紹介を行いました。

協力機関連携会議の開催

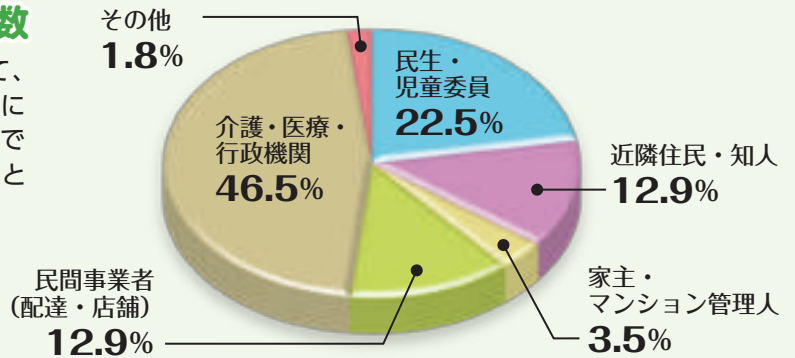
見守りネットワークの現状を把握するとともに、熱中症や区内でも大きな被害がでている特殊詐欺の対策などについて、それぞれの協力機関の職員と情報交換を行い、連携を深めました。

目黒区見守りネットワーク連絡会の開催

見守りめぐねっとの協力団体・協力機関・協力事業所や地域包括支援センターおよび区関係部署などが出席して、見守り事業に関する1年間の取組状況の報告・今後の取組について意見交換しました。

平成29年度の通報・相談件数

高齢者などの見守りや安否確認について、親族以外から各地域包括支援センターに寄せられた通報や相談は、年間で342件でした。地域のみなさんの声が大きな助けとなっています。



熱中症を予防しましょう

高齢者は、特に注意が必要です。意識して予防に取り組みましょう！
周りにいる人たちの見守りと声掛けも、とても大切です。ご協力をお願いします。

その1 予防法

エアコンを上手に活用
室温は28度を超えないように
湿度もチェック



その2 予防法

時間を決めて
のどが潤いていなくても
水分補給



その3 予防法

外出するときは
日差しを避けてこまめに休憩、
こまめに水分補給

